



詩篇第五卷
詩篇107-118篇

詩5巻1集 107-118 と 律法と預言者

- ・ 出エ. 主を恐るる助産婦が祝福せられた. (1:)
- ・ 苦しみの地の中で主に叫ぶと... (2:, 3:, 22:21-27)
- ・ 広い良い地は. (3:8)
- ・ 私の名. 私は主を恐る. (3:13-15, 6:2-8)
- ・ モーセの歌. (15:)
- ・ 主の御名の栄光. 主はあまの深さ... (34:)
- ・ サムエル. ハンナの歌. 誓い (1サム1:2:)
- ・ ダビデの歌 (2サム22:, Ps18)
- ・ 歴代誌. 主に感謝せば. 主は良い. その恵みは絶えず. (1歴16:)
- ・ 列王記. ハレルヤの歌. サマリヤの歌 (1列1:)
- ・ サマリヤの歌
- ・ 151. 2歴. ソドモンの災い. レモ. (1列18:52, 53) 叫びを聞いて. エジプトから連れ出された. 天の御名を答える.

第5巻、第1集、107篇から118篇までを見ると、出エジプト、エジプトから連れ出されて救われたということが強調されている、その勝利のハレルヤの詩篇のグループだということがわかると思います。律法と預言者ですね。出エジプト記、サムエル記、歴代誌、列王記。エジプトから連れ出されたところとペリシテから連れ出されたところです。ダビデが契約の箱を持ってくる場所。エジプトから、敵から救われるというところです。

その栄光を107篇から118篇の中で見なくてはいけないというしるしがたくさんあります。例えば112篇です。「幸いなことよ。主を恐れ、その仰せを大いに喜ぶ人は。…祝福される、そして繁栄する。」ということはエジプトの最初の話です。主を恐れる助産婦が祝福されたというところを思い出したりもします。

苦しみの中、虐待の中で主を叫ぶと神様は聞いて救われるというのがエジプトから救い出されるという最初の出だしのところです。それが出エジプト2章、3章、22章などに書いてありますが、この107篇はまさに、「苦しみの中から主に向かって叫ぶと主は彼らを苦悩から救い出された」ということが5回あるかな？そして、その恵み、奇しいみわざに感謝しなさいということと言われる107篇の出だしからして、この出エジプト記を連想する。

細かいところでは、「広い良い地に導いた」というのが出エジプト3章8節にありますけれど、「広い良い地に導かれた」は118篇5節に「苦しみのうちから主を叫び求める

と私に答えて広いところに置かれた」これは、エジプトから連れ出したところの言い方を連想しないといけないものだと思います。

「私の名、私は主である」ということを主が宣言してくださる（出エジプト）3章、6章も大切なところになると思いますけれど、特にモーセの歌、15章。これは全体を通して比べて考えなくてはならない。たくさん似ているところがありますね。右の手で救うとか恵みの地に導いてくれたということが主に向かって叫ぶこの歌、勝利の歌がこの背景になっていると思います。

それで、34章の主は恵み深いというのが112篇111篇にあります。「主は情け深く憐れみ深い」この主の名の宣言は出エジプトの34章にありますね。

- ・サムエル記 1章 ハンナの歌、誓い (1サムエル 1:2)
- ・ダビデの歌 (2サムエル 22:1, 詩篇 18)
- ・歴代誌 主は感謝せよ。主は良い。その恵みはとこしえまで。 (1歴代誌 16:)
- ・ルカ マリヤの歌、ザカリヤの歌 (ルカ 1:)
- ・ザカリヤの歌
- ・1列王 2歴代 所収 ソロモンの祈り。サムエル (1列王 8:52, 53) 及び8節以下、エジプトから連れ出された。主は答える。

この出エジプトを土台にして、今度ダビデの時代にハンナはイスラエルの救いを求めていた。誓って主に祈る、角が上げられることを祈っている。その第1サムエル記の1章、2章。しもべ、はしための祈りが113篇、116篇。この辺りはハンナの祈りを連想しないといけないですね。

ハンナの祈り、ハンナの誓いの応答として神様が救ってくださって、最終的にダビデが与えられ、ダビデが勝利を治めましたというのが第2サムエル記22章、つまり詩篇18篇。このダビデの死ぬ前のところに記されている2つの歌です。モーセの死ぬ前の2つの歌と同じように、ダビデも最後に2つの歌がありますけれど、その最初のほう詩篇18篇そのままです。そのダビデの歌を連想する箇所もたくさんありますので、それも一緒に見なくてはなりません。

それと「主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。」は第1歴代誌に書かれています。第1歴代誌でダビデが契約の箱を天幕に安置して礼拝をする。その礼拝、民に神様に対して感謝を捧げることば、その歌を教えている箇所です。その箇所をそのまま引用している107篇から118篇ですので、歴代誌も見なくてはなりません。

- ・サエイル. ハンナの歌. 誓い (179:1,2):
ダビデの歌 (279:22, Ps18)
- ・歴代誌 主に感謝は、主は良い、その恵みは絶えず。 (1歴16:)
- ・ルカ マリヤの歌. ザカリヤの歌 (ルカ1:)
ザカリヤの歌
- ・151. 2歴. ソロモンの祈り. 1モバ. (1518:52.53) 叫びを聞いて、エジプトから連れ出され、天で聞いて答える。

ハンナの歌とダビデの歌の成就としてマリヤの歌とザカリヤの歌がありますので、ルカの福音書1章のところを見ると、貧しい者をちりから引き上げて王座につかせるというようなことが出てきます。御霊の救いであるということ。

- ・サエイル. ハンナの歌. 誓い (179:1,2):
ダビデの歌 (279:22, Ps18)
- ・歴代誌 主に感謝は、主は良い、その恵みは絶えず。 (1歴16:)
- ・ルカ マリヤの歌. ザカリヤの歌 (ルカ1:)
ザカリヤの歌
- ・151. 2歴. ソロモンの祈り. 1モバ. (1518:52.53) 叫びを聞いて、エジプトから連れ出され、天で聞いて答える。

ダビデの祈りの成就としてソロモンに神殿が与えられて、ソロモンの祈りもダビデの祈りを元にして祈られているものです。特に第1列王記8章、第2歴代誌にもあるのですが、第1列王記8章のほうは、その最後のところに「主は叫びを聞いて救われる。天で聞いて答えてくださる。それはエジプトから連れ出してくださったようにである。」というのがその祈りのまとめになっています。

107 篇から118篇まで、この第5巻の第1集がエジプトから連れ出された、救われたということの喜びをあらわすハレルヤの詩篇のまとめであることが、この律法と預言者の背景からもわかるものだと思います。